

農作物生育・技術情報6号

令和4年8月2日

日高農業改良普及センター日高西部支所
JAびらとり JA門別町

1 水稻生育状況 中苗:ななつぼし

●生育状況調査

区分	草丈 (cm)	葉数 (葉)	莖数 (本/㎡)	遅速 日数	備考 ※ ()は平年比
R4年	95.8	11.1	541	早3日	止葉期7/18 (早3日)
平年値	84.4	10.8	538		出穂期7/29 (早3日)
差	+11.4	+0.3	+3		

(1) 生育状況について

7月以降、気温が高く止葉期、出穂期は早まり、草丈は高くなりました。また、分けつが進み莖数は平年並みになりました。

(2) 土壌水分の確保

開花後、登熟初期(開花～20日間)は、籾の中で子房が急速に大きくなるため、水分が必要となります。この時期の土壌水分不足は、品質や収量に影響しますので、ほ場にひび割れ(=断根)が発生しないように土壌水分を確保してください。

※常時滞水させる必要はありません。一時的に滞水、落水を繰り返してください。

(3) 病害虫発生状況

7/29時点で、いもち病の発生は確認されていませんが、ほ場をよく観察し、早期発見に努めて下さい。また、全道的にカメムシの捕殺頭数が増加しています。防除は計画どおり進めて下さい。

(4) 落水時期と落水後の水管理

落水の目安は「穂かがみ期(出穂25日後頃)」以降です。水田が乾燥する場合は走り水を行い、土壌水分を確保に努めて下さい。

2 主要野菜の生育状況

作物名	生育状況	技術対策
トマト	5月定植: 3～4段目収穫 6月定植: 1～2段目収穫。 <病害虫・障害> ・灰色かび病、アザミウマ類、アブラムシ類、日焼け果、着色不良果、軟果の発生が見られる。	・ベット内側の葉や老化葉を中心に摘葉を行い風通しを良くする。 ・遮光資材の利用、ハウスの開閉、換気で、日焼け果等を防止する。 ・適切な土壌水分確保や肥培管理に努める。 ・ハウス内外の雑草を除去する。 ・害虫は定期的に防除を行う。 アザミウマ類はピレスロイド系薬剤の連用は避ける。
ハウス軟白ねぎ	・4月定植収穫中。 ・ハモグリバエ類、アザミウマ類、小菌核腐敗病が見られる。	・ハウス内外の雑草除去、収穫残渣の処分を徹底する。 ・害虫は定期的に防除を行う。 アザミウマ類はピレスロイド系薬剤の連用は避ける。

作物名	生育状況	技術対策
アスパラガス (ハウス立茎)	・夏芽収穫中。	・斑点病、灰色かび病の防除を行う。
かぼちゃ	・1番果収穫始め。	・黒斑病、うどんこ病の防除を行う。

3 畑 作

○ばれいしょ

疫 病：罹病茎葉で作られた胞子が塊茎感染のもとになります。収穫時期を迎える生食用ばれいしょについては、茎葉処理まで塊茎腐敗に効果のある薬剤で防除を徹底し、塊茎腐敗の発生を防ぎましょう。また、収穫時期の遅い加工ばれいしょは、収穫まで防除を徹底しましょう。

軟腐病：高温多湿が続いていますので多発しやすい状況です。防除の徹底に心がけましょう。

○小 豆 本年の開花は例年より進んでおります。菌核病・灰色かび病は開花後に発生しやすくなり、開花始7～10日後が1回目の防除の目安になります。ほ場をよく観察しましょう。

病害虫名	防除時期
灰色かび病・菌核病	1回目：開花始7～10日後 2回目：1回目防除から7～10日後
アズキノメイガ	8月上旬～中旬

○大 豆 マメシンクイガの防除は若莢が着いたころ1回目の防除時期になります。

1回目：8月9日～12日ころ
2回目：1回目の散布から7～10日後

※連作畑や前年発生が多いほ場では要注意！

○小麦後作緑肥の導入

小麦収穫跡地の緑肥作物は、地力維持・土壌病害の発生軽減・土壌浸食防止など効果があります。生育確保のためできるだけ早くは種を行いましょう。

4 畜 産

○牧草生育状況（8月1日現在）

作物名	生育状況			遅速日数	摘 要 (作業期節・特記事項)
	項目	R4年	平 年		
牧草(苜蓿)	草丈(2番草)	55.2cm	52.2cm	+2	生育は平年並みである

●2番草の収穫調製と保管

- ①ロールベールに調製する場合は、調製後の乾草等を草地に放置せず、速やかにほ場から搬出しましょう。
- ②乾燥が不十分なまま梱包した乾草は、自然発火の恐れがあるため、ベール中心温度が30℃以下になり、異臭がないことを確認してから乾草舎等に収納しましょう。

●2番草の収穫調製と保管

- ①草地更新する場合は、8月末までには播種できる段取りで進めましょう。

○サイレージ用とうもろこし生育状況（8月1日現在）

作物名	生育状況			生育期節	遅速日数	備 考
	項目	R4年	平 年			
サイレージ用とうもろこし	草丈 葉数	261.1cm 17.7枚	260.5cm 16.5枚	絹糸抽出期	+2	生育は平年並である。